

(様式1)

令和 8 年度

工 事 () 設 計 書

(工 事 名) 市道日光2号線無名橋 (212号橋) 修繕工事 (補助)

(工事箇所) 鳥取市 気高町日光 地内

所 長	所長補佐	合 議	精 査	設 計 者

令和 年 月 日

鳥 取 市

(様式2)

工 事 () 概 要

1. 設 計 金 額 _____ 円 (内、消費税相当額 _____ 円)

2. 工 期 _____ 令 和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 令 和 9 年 3 月 10 日 (_____ 日間)

3. 工 事 概 要

無名橋 (212号橋) W=4.0 (5.0) m L=12.6m	
ひび割れ補修工 (内圧充填接合補強工法) L= 103.9m	
断面修復工 V=0.013m ³	
モルタル充填工 V=0.93m ³	
仮設工 一式	

4. 変更請負額の算定

変更前請負額 (税込) 変更工事価格

変 更 落 札 額 = _____ × _____ = _____ (千円未満切り捨て)

変更前設計額 (税込)

変更消費税額 = _____ × 10% = _____

変 更 請 負 額 = _____ + _____ = _____

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	51 鳥取市 設計書 当初 08-*****-00021-10 0 1 実施単価 06 鳥取市 気高町 00-08.09.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 00 通常工事 0％ 01 金銭保証（0.04％） 01 豪雪割増あり 00 千円止め（土木） 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
橋梁保全工事						Y1G03 (レベル1)
ひび割れ補修工			一式			Y2999 (レベル2)
注入樹脂 湿潤用エポキシ樹脂 見積 IPH工法 IPH-E-396H同等品 見積	48.9	k g				F0008 00 080910
サンディング 乾燥ひび割れ 見積	103.9	m				V0011 00 単第0 -0001 表 080910
マーキング 5箇所/m 見積	103.9	m				V0012 00 単第0 -0002 表 080910
穿孔工 5箇所/m 穿孔深さ7cm 見積	103.9	m				V0013 00 単第0 -0003 表 080910
台座取付工 5箇所/m 見積	103.9	m				V0014 00 単第0 -0004 表 080910
樹脂漏れ防止 見積	103.9	m				V0015 00 単第0 -0005 表 080910

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
注入工 5箇所/m 注入2回						V0016 00
見積	103.9	m				単第0 -0006 表 080910
撤去工 5箇所/m						V0017 00
見積	103.9	m				単第0 -0007 表 080910
断面修復工						Y2999 (1^ 12)
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合						S1020039 00 A=4,B=0.013
	1	構造物				単第0 -0008 表 080910
コンクリート殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超) アスファルト運搬歩掛準用						SPK25040155 00 A=3,B=4,C=1,D=47,E=1
	0.01	m3				単第0 -0009 表 080910
投棄料						#0041 C=投棄料
		一式				
Co殻処分費						F0031 00
	0.03	t				080910
モルタル充填工						Y2999 (1^ 12)
型枠 一般型枠 小型構造物						SPK25040159 00 A=1,B=2,C=1
	1.6	m2				単第0 -0010 表 080910

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	モルタル練工									V0031	00
仮設工	施工パッケージ準用	0.93	m	3						単第0 -0011	表 080910
										Y2999	(レベル2)
	足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満									S3030011	00
										A=2,B=0.6	
		17	m	2						単第0 -0012	表 080910
	防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔									S3030015	00
										A=1,B=2,C=0.6	
		17	m	2						単第0 -0013	表 080910
	防護工(床版補強工) シート張防護工 底面部									V0042	00
		17	m	2						単第0 -0014	表 080910
直接工事費											
現場環境改善費										Z0012	
共通仮設費											
共通仮設費計											

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※純工事費※※						
現場管理費						
※※工事原価※※						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
※※工事価格※※						
※※消費税相当額※※						
※※工事費計※※						

サンディング
乾燥ひび割れ

V0011

施工単価表

単第0 -0001 表

頁0-0006

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.38	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.76	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.76	人			RTPC00002 1
吸塵システム損料 本体セット IPH工法 VDRダイヤモンド吸塵システム同等	100	m			F0001 見積
研掃刃損料 IPH工法 VDR研掃刃同等	100	m			F0002 見積
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

マーキング
5箇所/m

V0012

施工単価表

単第0 -0002 表

頁0-0007

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.24	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.48	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.48	人			RTPC00002 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

V0013

単第0 -0003 表

穿孔工
5箇所/m 穿孔深さ7cm

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.39	人			RTPC00009 1
特殊作業員	4.78	人			RTPC00001 1
普通作業員	4.78	人			RTPC00002 1
穿孔機損料 水循環型 IPH工法 IPHミストダイヤモンド同等品	100	m			F0003 見積
濾過フィルター損料 IPH工法 IPHミストダイヤモンドフィルター同等品	100	m			F0004 見積
先端ビット損料 IPH工法 IPHミストダイヤモンドカッター同等品	100	m			F0005 見積
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

台座取付工
5箇所/m

V0014

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

頁0-0009

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.96	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.92	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.92	人			RTPC00002 1
台座 IPH工法 IPHJP台座同等品	500	個			F0006 見積
ピックアップシール 台座周シール含む IPH工法 ピックアップシール類同等品	13.8	k g			F0007 見積
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

樹脂漏れ防止

V0015

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

頁0-0010

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.29	人			RTPC00009 1
特殊作業員	0.58	人			RTPC00001 1
普通作業員	0.58	人			RTPC00002 1
ピックアップシール 台座周シール含む IPH工法 ピックアップシール類同等品	16.5	k g			F0007 見積
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

V0016

単第0 -0006 表

注入工
5箇所/m 注入2回

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.91	人			RTPC00009 1
特殊作業員	3.82	人			RTPC00001 1
普通作業員	3.82	人			RTPC00002 1
樹脂充填器具 プラスチック容器 IPH工法 IPHジャバラ同等品	1,000	個			F0009 見積
注入器 スプリング加圧式プラスチック製ケース IPH工法 IPHカプセル同等品	200	個			F0010 見積
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

撤去工
5箇所/m

V0017

施 工 単 価 表

単第0 -0007 表

頁0-0012

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.44	人			RTPC00009 1
特殊作業員	2.88	人			RTPC00001 1
普通作業員	2.88	人			RTPC00002 1
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

頁0-0013

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020039
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0008 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.800	人			RTPC00009
特殊作業員	5.300	人			RTPC00001
普通作業員	2.800	人			RTPC00002
ポリマーセメントモルタル	0.015	m3			F0000000004
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=4 【F】 断面修復材(m3)			B=0.013	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.013000000 * (1 + 0.18) = 0.015(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施工単価表

頁0-0014

コンクリート殻運搬

SPK25040155

単第0 -0009 表

舗装版破碎

DID区間無し 運搬距離12.0km以下(9.0km超) アスファルト運搬歩掛準用

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=47 運搬距離12.0km以下(9.0km超)		

施 工 単 価 表

SPK25040159

単第0 -0010 表

型枠

一般型枠

小型構造物

1

m2

当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

モルタル練工

V0031

施工単価表

単第0 -0011 表

頁0-0016

施工パッケージ準用

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.91	人			RTPC00009 1
普通作業員	2.20	人			RTPC00002 1
無収縮モルタル 1875kg/m3×1.2	2,250	k g			F0021
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	m 3			

足場工(床版補強工)
桁高1.5m未満

S3030011

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0017

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.130	人			RTPC00020 9
足場損料	0.600	月			9
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 桁高1.5m未満			B=0.6	主体足場を架設している供用月数(月)	

施 工 単 価 表

S3030015

単第0 -0013 表

防護工(床版補強工)
シート張防護工

両側朝顔

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.004	人			RTPC00020 9
シート張防護材損料	0.600	月			9
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 C=0.6 両側朝顔 防護工を架設している供用月数			B=2 シート張防護工		

V0042

底面部

1

m2

当り

[illegible]

單 價 一 覽 表

(工事名) 市道日光2号線無名橋 (212号橋) 修繕工事 (補助)

[illegible]

無名橋・212号 補修工事数量総括表

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数 量	摘 要
工事区分	工種	種別	細別	規格			
橋梁修繕工事							
	コンクリート補修工						
		躯体の一体化対策(ひびわれ注入					
		ひびわれ注入	5箇所/m_注入2回_穿孔深さ7cm	m	103.9		
		注入材	エポキシ樹脂1種 (γ=1.15)	kg	48.9		
		サンディング		m	103.9		
		マーキング	5箇所/m	m	103.9		
		穿孔工	5孔/m_穿孔深さ7cm	m	103.9		
		台座取付工	台座取付5個/m	m	103.9		
		樹脂漏れ防止	ピックアップシール	m	103.9		
		注入工	注入工5孔/m_注入2回	m	103.9		
		撤去工	台座撤去5箇所/m	m	103.9		
	断面修復工						
		左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まず	m3	(0.006)	防錆工事含むに計上	
		左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含む	m3	0.013	0.007m3+0.006m3	
		断面修復材	ポリマーセメント	m3	0.013		
		殻運搬	コンクリート	m3	0.01		
		殻処分	コンクリート処分	t	0.03		
	モルタル充填工						
		モルタル充填工					
		小規模型枠工 (施工規模16.7m2以下)		m2	1.6		
		無収縮モルタル充填	無収縮モルタル	m3	0.93		
		無収縮モルタル		kg	2093		
	仮設工						
		吊足場	TYPE A1 桁高h<1.5	m2	17		
		シート張り防護工	足場底面部	m2	17		
			朝顔部	m2	17		

1. 躯体の一体化対策

項目	計算式	単位	数量
躯体の一体化対策 (ひびわれ注入)	5箇所/m_注入2回_穿孔深さ7cm		
A1橋台	ひび割れ幅 0.2mm以上0.5mm未満 L= 32.27	m	32.2
注入材	エポキシ樹脂1種 (γ=1.15) W= 0.00035×0.102×1150×1.15×32.2 ※平均ひび割れ幅0.35mm、深さt=102mm(鉄筋かぶり)と仮定 15%ロス含む	kg	1.52
	ひび割れ幅0.5mm以上1.75mm未満(実測平均0.77mm) L= 18.23	m	18.2
	エポキシ樹脂1種 (γ=1.15) W= 0.00077×(0.77×200/1000)×1150×1.15×18.2 ※平均ひび割れ幅0.77mm、深さはひびわれ幅×200と仮定 15%ロス含む	kg	2.85
	ひび割れ幅1.75mm以上(実測平均3.82mm) L= 18.70	m	18.7
	エポキシ樹脂1種 (γ=1.15) W= 0.00382×0.35×1150×1.15×18.7 ※平均ひび割れ幅3.82mm、深さt=350mm(上限値)と仮定 15%ロス含む	kg	33.06
A2橋台	ひび割れ幅 0.2mm以上0.5mm未満 L= 17.13	m	17.1
注入材	エポキシ樹脂1種 (γ=1.10) W= 0.00035×0.102×1150×1.15×17.1 ※平均ひび割れ幅0.35mm、深さt=102mm(鉄筋かぶり)と仮定 15%ロス含む	kg	0.80
	ひび割れ幅0.5mm以上1.75mm未満(実測平均0.86mm) L= 13.05	m	13.0
	エポキシ樹脂1種 (γ=1.10) W= 0.00086×(0.86×200/1000)×1150×1.15×13.0 ※平均ひび割れ幅0.86mm、深さはひびわれ幅×200と仮定 15%ロス含む	kg	2.54
	ひび割れ幅1.75mm以上(実測平均3.78mm) L= 4.70	m	4.7
	エポキシ樹脂1種 (γ=1.10) W= 0.00378×0.35×1150×1.15×4.7 ※平均ひび割れ幅3.82mm、深さt=350mm(上限値)と仮定 15%ロス含む	kg	8.22
	ひびわれ総延長 Σ=	m	103.9
	注入材合計=	kg	48.99

項目	計算式	単位	数量
サンディング		m	103.9
マーキング	5箇所/m	m	103.9
穿孔工	5孔/m_穿孔深さ7cm	m	103.9
台座取付工	台座取付5個/m	m	103.9
樹脂漏れ防止	ピックアップシール	m	103.9
注入工	注入工5孔/m_注入2回	m	103.9
撤去工	台座撤去5箇所/m	m	103.9

IPH工法ひび割れ注入延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
	A1橋台			
3		0.30	0.37	
4		0.20	0.20	
5		0.20	0.30	
8		0.30	0.30	
9		0.20	0.25	
12		0.30	0.40	
13		0.20	0.20	
14		0.30	0.35	
15		0.20	0.65	
16		0.20	0.25	
19		0.30	0.45	
23		0.20	0.35	
24		0.20	0.30	
26		0.30	0.20	
27		0.20	0.30	
28		0.30	0.75	
29		0.30	1.20	
30		0.20	0.80	
32		0.20	0.25	
35		0.20	0.60	
36		0.20	0.40	
37		0.20	0.20	
39		0.40	0.40	
41		0.30	0.40	
42		0.30	0.30	
46		0.40	0.10	
48		0.30	0.40	
49		0.30	0.35	
50		0.20	0.20	
51		0.20	0.15	
52		0.30	0.50	
53		0.30	0.35	
54		0.20	0.20	
55		0.20	0.15	
56		0.20	0.15	
57		0.30	0.30	
58		0.30	0.25	
59		0.30	0.20	
60		0.20	0.40	
61		0.20	0.25	
62		0.30	0.50	
63		0.20	0.20	
64		0.30	0.35	
65		0.20	0.35	
67		0.20	0.20	
68		0.30	0.40	
69		0.30	0.40	
70		0.30	0.35	
71		0.20	0.40	
72		0.30	0.40	
73		0.30	0.20	
74		0.20	0.40	
75		0.30	0.30	
76		0.30	0.45	
77		0.30	0.50	

IPH工法ひび割れ注入延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
78		0.30	0.35	
79		0.30	0.15	
80		0.30	0.30	
81		0.20	0.15	
82		0.20	0.25	
88		0.20	0.20	
89		0.30	0.20	
90		0.30	0.40	
92		0.40	0.20	
97		0.30	0.10	
98		0.30	0.15	
99		0.30	0.25	
101		0.40	0.20	
102		0.30	0.10	
103		0.30	0.20	
107		0.40	0.30	
108		0.20	0.30	
109		0.20	0.15	
110		0.30	0.25	
112		0.20	0.20	
113		0.30	0.50	
115		0.30	0.15	
117		0.30	0.15	
120		0.40	0.40	
121		0.30	0.10	
122		0.30	0.45	
123		0.40	0.30	
125		0.40	0.45	
126		0.40	0.30	
130		0.30	0.30	
131		0.30	0.30	
132		0.30	0.30	
139		0.40	0.50	
140		0.40	0.35	
141		0.20	0.15	
142		0.40	0.20	
143		0.40	0.35	
145		0.30	0.10	
147		0.20	0.20	
148		0.30	0.20	
150		0.20	0.30	
155		0.20	0.20	
157		0.40	0.35	
160		0.30	0.25	
161		0.40	0.15	
164		0.20	0.30	
165		0.30	0.20	
168		0.40	0.10	
169		0.30	0.15	
170		0.40	0.20	
173		0.30	0.40	
	小計		32.27	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)

IPH工法ひび割れ注入延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
	A2橋台			
2		0.20	0.10	
4		0.40	0.25	
5		0.40	0.10	
11		0.20	0.50	
12		0.20	0.70	
13		0.20	0.20	
14		0.30	1.30	
15		0.20	0.25	
16		0.20	0.40	
17		0.30	0.20	
18		0.20	0.30	
19		0.30	0.30	
21		0.20	0.30	
22		0.20	0.30	
23		0.20	0.80	
24		0.20	0.10	
25		0.20	0.30	
26		0.20	0.15	
29		0.20	0.30	
33		0.40	0.10	
36		0.40	0.20	
37		0.40	0.20	
38		0.30	0.10	
39		0.30	0.30	
40		0.20	0.10	
41		0.30	0.10	
42		0.30	0.30	
44		0.30	0.25	
47		0.20	0.10	
48		0.20	0.15	
51		0.30	0.15	
52		0.40	0.60	
53		0.40	0.20	
64		0.30	0.10	
65		0.30	0.10	
68		0.20	0.15	
72		0.30	0.15	
73		0.30	0.10	
76		0.30	0.10	
78		0.30	0.20	
80		0.30	0.20	
81		0.30	0.10	
82		0.20	0.40	
83		0.20	0.75	
84		0.30	0.65	
85		0.30	0.20	
86		0.30	0.20	
87		0.20	0.15	
88		0.20	0.15	
89		0.30	0.33	
90		0.30	0.30	
91		0.20	0.50	
92		0.20	0.20	
93		0.30	0.40	
94		0.20	0.60	
95		0.20	0.50	
96		0.20	0.20	
97		0.20	0.70	
	小計		17.13	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)

IPH工法ひび割れ注入延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ				備 考
		w (mm)		L (m)		
	(A1橋台、A2橋台)					
	0.2≦w<0.5mm 合計延長	-		49.40		
		A1橋台	A2橋台			合 計
	注入：エポキシ1種合計	32.27	17.13			49.40
	注入：エポキシ2種合計					
	注入：エポキシ3種合計					
	充填：ポリマーセメント系合計					
	充填：可とう性エポキシ樹脂系合計					
	充填：シーラント系合計					
	合 計	32.27	17.13			49.40

IPH工法ひび割れ注入工延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
	A1橋台			
2		0.80	0.50	
7		0.50	0.25	
10		0.50	0.60	
22		0.50	0.30	
25		0.50	0.55	
33		0.50	0.15	
34		0.50	0.60	
40		0.50	0.40	
43		0.70	0.15	
44		0.70	0.35	
45		0.90	0.50	
47		0.70	0.30	
66		0.50	0.40	
86		0.80	0.50	
91		0.90	0.45	
93		0.50	0.15	
94		0.50	0.40	
95		0.60	0.35	
96		0.50	0.35	
100		0.60	0.23	
104		0.60	0.40	
105		1.00	0.45	
106		0.50	0.40	
111		0.60	0.35	
114		1.50	0.30	
116		0.50	0.45	
118		0.50	0.10	
124		0.50	0.30	
127		0.70	0.40	
128		0.50	0.30	
129		0.60	0.20	
133		0.80	0.30	
135		1.20	0.80	
136		0.80	0.90	
137		0.60	0.60	
138		0.50	0.20	
144		0.50	0.25	
146		0.50	0.40	
149		0.50	0.25	
151		1.50	0.15	
153		0.60	0.40	
154		1.40	0.95	
156		0.50	0.20	
159		1.00	0.60	
162		1.30	0.15	
167		1.60	0.40	
171		1.20	0.30	
172		0.80	0.25	
	小計		18.23	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)

IPH工法ひび割れ注入工延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
	A2橋台			
1		0.60	0.35	
3		0.90	0.15	
8		1.20	0.20	
9		0.80	0.40	
10		0.50	0.50	
20		0.90	1.30	
31		1.50	0.80	
32		0.80	0.25	
34		0.80	0.70	
35		1.50	0.20	
43		1.00	0.90	
45		0.50	0.25	
46		0.50	0.25	
49		0.50	0.10	
50		0.50	0.20	
54		1.50	0.40	
55		1.00	0.20	
56		1.00	0.30	
57		1.30	0.50	
58		1.30	0.15	
59		1.20	0.20	
60		0.50	0.10	
61		1.50	1.60	
62		1.40	0.15	
63		0.50	0.40	
66		0.50	0.10	
67		0.50	0.15	
69		0.70	0.15	
70		0.50	0.10	
71		0.50	0.15	
74		0.50	0.15	
77		0.50	0.20	
79		0.50	0.35	
98		1.00	0.50	
100		0.50	0.10	
103		1.50	0.55	
	小計		13.05	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)
(A1橋台、A2橋台)				
0.5 ≤ w < 1.75mm 合計延長		-	31.28	
		A1橋台	A2橋台	合 計
注入：エポキシ1種合計		18.23	13.05	31.28
注入：エポキシ2種合計				
注入：エポキシ3種合計				
充填：ポリマーセメント系合計				
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計				
充填：シーラント系合計				
合 計		18.23	13.05	31.28

IPH工法ひび割れ注入工延長数量計算書

番号	部 位	ひび割れ		備 考
		w (mm)	L (m)	
	A1橋台			
1		2.00	0.75	
6		4.00	0.75	
11		8.00	1.95	
17		7.00	0.65	
18		5.00	2.20	
20		5.00	0.55	
21		5.00	0.55	
31		5.00	1.10	
38		5.00	1.00	
83		5.00	0.45	
84		2.00	0.70	
85		2.00	0.50	
87		2.00	0.90	
119		2.50	1.80	
134		2.70	1.10	
152		1.80	0.85	
158		2.50	1.10	
163		2.00	0.60	
166		4.00	1.20	
	小計		18.70	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)
	A2橋台			
6		4.00	0.75	
7		2.00	0.10	
27		2.00	0.30	
28		4.00	0.90	
30		7.00	0.60	
75		7.00	1.30	
99		3.00	0.20	
101		2.00	0.35	
102		3.00	0.20	
	小計		4.70	注入：土木補修用注入材(エポキシ樹脂1種)
(A1橋台、A2橋台) w>1.75mm 合計延長		-	23.40	
		A1橋台	A2橋台	合 計
注入：エポキシ1種合計		18.70	4.70	23.40
注入：エポキシ2種合計				
注入：エポキシ3種合計				
充填：ポリマーセメント系合計				
充填：可とう性エポキシ樹脂系合計				
充填：シーラント系合計				
合 計		18.70	4.70	23.40

2. 断面修復工

項目	計算式	単位	数量
断面修復工	無名橋・212号 補修図（その1）より		
左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理含まず		
	A1橋台 縦壁		
	A= 0.088	m2	0.08
	V= 0.006	m3	0.006
	※平均修復厚さt=4.5cmとする。		
	計Σ=	m3	0.006
	鉄筋ケレン・防錆処理含む		
	A1橋台 ウイング		
	A= 0.075	m2	0.07
	V= 0.005	m3	0.005
	※平均修復厚さt=6cmとする。		
	A2橋台 ウイング		
	A= 0.03	m2	0.03
	V= 0.002	m3	0.002
	※平均修復厚さt=6cmとする。		
	計Σ=	m3	0.007
	合計Σ=	m3	0.013
断面修復材	ポリマーセメント		
	V= 0.006	m3	0.006
殻運搬	V= 0.006	m3	0.006
殻処分	0.006×2.35	t	0.014
	ポリマーセメント		
	V= 0.007	m3	0.007
殻運搬	V= 0.007	m3	0.007
殻処分	0.007×2.35	t	0.016
		m3	0.013
		m3	0.013
合計Σ=		t	0.030

左官工法数量計算書

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	カッター工 (m)	備 考
	A1橋台 縦壁 剥離・鉄筋露出							
1		0.05 × 0.15	0.008	0.045	0.026	0.001	0.40	
2		0.05 × 0.30	0.015	0.045	0.047	0.001	0.70	
1	A1橋台 縦壁 うき	0.15 × 0.30	0.045	0.045	0.086	0.002	0.90	
2		0.05 × 0.20	0.010	0.045	0.033	0.001	0.50	
3		0.10 × 0.10	0.010	0.045	0.028	0.001	0.40	
	小計		0.088		0.220	0.006	2.90	
	A1橋台 ウイング 剥離・鉄筋露出							
1		0.05 × 0.05	0.003	0.060	0.015	0.001	0.20	
2		0.06 × 1.20	0.072	0.060	0.223	0.004	2.52	
	小計		0.075		0.238	0.005	2.72	
	A2橋台 ウイング 剥離・鉄筋露出							
1		0.05 × 0.60	0.030	0.060	0.108	0.002	1.30	
	小計		0.030		0.108	0.002	1.30	
	合計		0.193		0.566	0.013	6.92	

3. モルタル充填工

項目	計算式	単位	数量
モルタル充填工	無名橋・212号 補修図（その3）より		
小規模型枠工（施工規模16.7m2以下）	$A = (0.222 + 0.340) / 2 \times 4.452 + 0.340 \times 1.16$ $A = 1.64$	m2	1.64
無収縮モルタル充填	無収縮モルタル $V = (0.122 + 0.240) / 2 \times 4.452 \times 1.16$ $V = 0.93$	m3	0.93
無収縮モルタル	無収縮モルタル標準使用量想定 (1,875kg/m3) $0.93 \times 1875 \times 1.2$ (ロス率) 1.2	kg	2092.5

4. 仮設工

項目	計算式	単位	数量
足場工	※無名橋・212号 仮設図（案）より		
吊足場	TYPE A1 桁高 $h < 1.5$		
	8.39+8.85	m2	17.24
シート張り防護工	底面部 8.39+8.85	m2	17.24
	朝顔部 8.39+8.85	m2	17.24

現場説明書

1

令和8年7月10日以降適用（鳥取市）

仕様書	①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/294862.htm）によること。 ②仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市建設工事低入札価格調査制度実施要領（令和3年3月31日制定）第4条」と読み替えるものとする。 ③仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。										
工程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____（すること、しないこと）。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____：_____～_____：_____とする。 ④（標準工期） 本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>適 用</th></tr></thead><tbody><tr><td>工期の設定方法</td><td>標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数</td></tr><tr><td>本工事に使用する雨休率</td><td>0.90（R2～R6 5年間平均値）</td></tr><tr><td>休日・悪天候以外の作業不能日</td><td>日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）</td></tr><tr><td>標準工期（全体工期）</td><td>113日（余裕期間含む・含まない）</td></tr></tbody></table> ⑤（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取市余裕期間設定工事に係る実施要領（平成29年10月24日付事務連絡都市企画課長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 標準工期については、④のとおりとする。 ⑥（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑦（週休2日工事） 本工事は、鳥取市週休2日工事試行実施要領（令和8年5月1日付検査契約課長通知）の対象工事である。 https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1684.htmlに掲載された最新の同要領の規定に従い週休2日工事に努めること。	項 目	適 用	工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数	本工事に使用する雨休率	0.90（R2～R6 5年間平均値）	休日・悪天候以外の作業不能日	日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）	標準工期（全体工期）	113日（余裕期間含む・含まない）
項 目	適 用										
工期の設定方法	標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数										
本工事に使用する雨休率	0.90（R2～R6 5年間平均値）										
休日・悪天候以外の作業不能日	日（令和 年 月 日～令和 年 月 日）										
標準工期（全体工期）	113日（余裕期間含む・含まない）										
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。										
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立木の置き場所） 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。										
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____										

現場説明書

2

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 工事全体合計 <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 工事全体合計 <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知）に基づいて適正に処理すること。 （参考URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf） ②（千代川水系における濁水防止対策） 本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において〔未調整・調整済み〕である。 なお、未調整工事については、<u> </u>までに調整を行う予定である。 工事の実施にあたっては、現場説明書8、9を遵守し、汚濁等の防止に努めること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 （参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/page/5562.html） ①（他工事等流用） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m²以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m³当り <u> </u>円 アスファルト塊 1m³当り <u> </u>円 建設発生木材 1m³当り <u> </u>円 ②（他工事等流用） 〔Co塊・ <u> </u>〕は、 <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内 <u> </u>工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は____市・町・村____地内の____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離____km）を想定し、1 t 当り____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取市）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取市）・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は____市・町・村____地内の____への搬出（片道運搬距離____km）を想定し____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊 ____鳥取市 福井 地内の (株) 原田建設
(運搬距離 9.8 km)、費用 1 t 当り 2,200 円
アスファルト塊 ____市・町・村____地内の____
(運搬距離____km)、費用 1 t 当り____円
建設発生木材 ____市・町・村____地内の____
(運搬距離____km)、費用 1 t 当り____円
その他 () ____市・町・村____地内の____
(運搬距離____km)、費用 1 t 当り____円

（受入れ時間帯） 8 時～17 時（平日）

（受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は 500mm 以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径____cm 以下、長さ____m 以下であること。

エ 2 次災害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑥（最終処理等）

____については、____市・町・村____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離____km）を想定し、その費用として 1 t 当り____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦（産業廃棄物の処理に係る税）

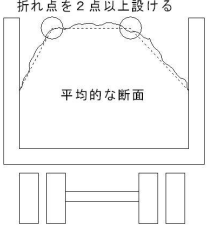
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、____円見込んでいる。

⑧（伐木工歩掛及び参考数量）

伐木工は伐木工歩掛（令和元年 10 月 15 日付第 201900175199 号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な 1 断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低 2 箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10 台に 1 台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が 10 台に満たない場合は、2 台以上写真管理を行うこと。 なお、manifests で運搬量（体積 (空 m ³)）が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を 2 点以上設ける 
建設発生木材搬出量	manifests 又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩（manifests）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 ②（再生資材の使用） ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 ウ 再生クラッシャーラン〔規格：RC- _____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____ に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシャーランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	①（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ②（農地の賃貸借） ア _____ の用途に使用するため、鳥取市 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	①（自社施工） 本工事においては、（※ _____ 工（_____ 工を除く）のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領（平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知）に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル4）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、_____ 橋の修繕をしています。_____ とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。 ③（監督体制） 本工事の監督体制は（一般・重点）監督とする。 重点監督の工種は _____ とし、その他の工種は一般監督とする。 なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。 ④（三者協議） 本工事は、_____ 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用） ⑤（技能士常駐） 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 ア 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 イ 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 ウ 技能士種別： _____ 技能士、該当工種： _____ 工、特記事項根拠： _____ 頁 ⑥（電子納品） 情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。 電子納品に当たっては、「鳥取市電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

⑦（情報共有システム）

予定価格1,500万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

予定価格1,500万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑧（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑨（実施単価全面改定時の適用単価）

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑩（建設機械の賃料の採用単価）

建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン、高所作業車及び橋梁点検車は、通常単価を採用し、その他の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕

⑪（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】（※該当しない場合は削除）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつの合計4つの実施内容を実施すること。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 昇降設備の充実, 2. 環境対策の充実 3. ICT設備の充実, 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の充実 3. 現場休憩所の充実（交通誘導員待機室含む） 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策 5. （港湾・漁港工事のみ）防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
地域連携	1. 広報活動等（完成予想図、工法説明、PR看板等） 2. 見学会・イベント等の開催（見学施設等設置・管理運営等含む） 3. 社会貢献・地域対策費等（地域行事等の経費含む） 4. 現場景観向上（美装化・デザイン看板等）

【災害復旧工事】（※該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

⑫（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報（最高気温 35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑬（現場管理費補正）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・しない〕。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>（治山工事、林道工事の場合は<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>）に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。

計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑭（日本芝生産地への配慮）

日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア 〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イ 〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ 〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り ____円を見込んでいます。

⑮（ICT活用工事〔受注者希望型(LightICTを含む)〕）

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事である。ICTの活用を希望する場合は、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。

仕様書の改定状況は <https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm> を参照すること。

⑯（現場代理人の兼務）

鳥取市発注工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について（令和2年6月5日付総務部長通知）に基づき、本工事は現場代理人の兼務について可能と〔する・しない〕

兼務可能な工事については、以下の条件を全て満たす場合に認めることとする。

1. 対象

市発注工事及び業務（水道局が発注するものを除く。）のうち、以下の条件を全て満たすものについて、合計3件まで現場代理人の兼務を認める。

（1）請負代金額が1,500万円以上の工事等は、3件のうち1件以下であること。

（2）兼務の対象となる各工事等の請負代金額が、いずれも4,500万円（建築一式工事の場合は9,000万円）未満であること。

（3）兼務を行おうとする現場代理人が、他の工事等で建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定による専任を要する主任技術者又は監理技術者となっていないこと。

2. 手続き

現場代理人を兼務させようとする場合は、現場代理人兼務届（様式第1号）に兼務の対象となる各工事等の位置図及び工程表を添付し、各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。

現場代理人の兼務状況に変更があった場合又は兼務を解除する場合（兼務の対象となっているいずれかの工事等が完成した時も含む。）は、現場代理人兼務状況変更届（様式第2号）を各工事等の担当課（工事事務所）に提出する。

⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm> に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱（工事書類）

完成検査時に必要な工事書類については、最新の「土木工事書類作成の手引き」を参考にすること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/page/5579.html>

⑲（評定対象外工事）

本工事は、建設工事成績評定要領第2条第1項各号のいずれかに該当する評定対象外工事であり、検査成績の工事成績評定の対象外（合否判定）とする。なお、完成検査時に必要な工事書類については、「土木工事書類簡素化マニュアル」を参考にすること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/page/5583.html>

⑳ (掲示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

㉑ (遠隔臨場)

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、最新の「鳥取市建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する試行要領」によること。

<https://www.city.tottori.lg.jp/site/nyusastu-keiyaku/1683.html>

㉒ (快適トイレの試行)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法900×900mm 以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場（トイレトーパーパー予備置き場等）

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事、港湾工事、漁港工事以外】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設置基数は現場毎に必要性を協議の上決定すること。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

2. 快適トイレに要する費用【港湾工事、漁港工事】（※該当しない場合は削除）

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、57,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事（施工箇所）※1までを原則とするが、監督職員と協議により必要と認められる場合は、増設できるものとする。

また、運搬・設置・撤去費は共通仮設費（率）に含むものとし、2基/工事（施工箇所）※1より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わないものとする。

ただし、海上運搬を伴う運搬・設置・撤去費用については、別途共通仮設費に積上げ計上※2 するものとする

※1 施工箇所が点在する工事など、トイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所ですべて計上できるものとする。

※2 快適トイレの海上運搬費用については、1回あたり当該工事で使用する作業船供用損料0.5 日分の費用を計上するものとする。なお、他の資材と混在して運搬する際には、快適トイレ個別での運搬費用は計上しない。

3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

㉓ (大型コンクリートブロック積擁壁)

大型ブロック及び基礎コンクリートは〇〇〇〇〇〇 (製品名を記載) (以下「想定製品」という。)同等以上の品質を有すること。なお、想定製品以外の製品を使用する場合は、その製品に合わせた構造図、展開図等の作成及び擁壁高が8.0mを超える場合は地震時の安定性の検討を行い、事前に監督員の承諾を得ること。このことについては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/294903.htm>に掲載の「大型ブロック積擁壁の設計及び積算の取り扱い」を参考にすること。

㉔ (下請契約等)

下請契約を締結する場合は、最新の鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/211686.htm>) に基づき、適正な下請契約とすること。
また、適切な賃金水準の確保と社会保険等への加入の徹底に努めること。
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/item/873746.htm#itemid873746> 参照)

㉕ (中東情勢の変化に伴う建設資材の設計変更)

本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材 (以下「調達検討資材」という。) の調達に必要な経費について設計変更の対象工事である。
設計変更を希望する場合は、調達公告時点で最新の中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更要領 (<https://www.pref.tottori.lg.jp/117322.htm>) に基づき、監督員と協議すること。
本工事における調達検討資材は下表を想定している。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月
塩化ビニル管	φ 〇〇mm	〇〇m	RO. 〇
塗料用シンナー	〇〇用シンナー	〇〇L	RO. 〇

※工事内容に応じて調達検討資材を記載すること

㉖ (ひび割れ補修工)

当初設計において注入材のロス率は15%を見込んでいるが、設計と乖離がある場合は実績数量 (実注入量 + 注入器の残量) で変更を行うため、使用数量を管理すること。

そ
の
他

(A4)

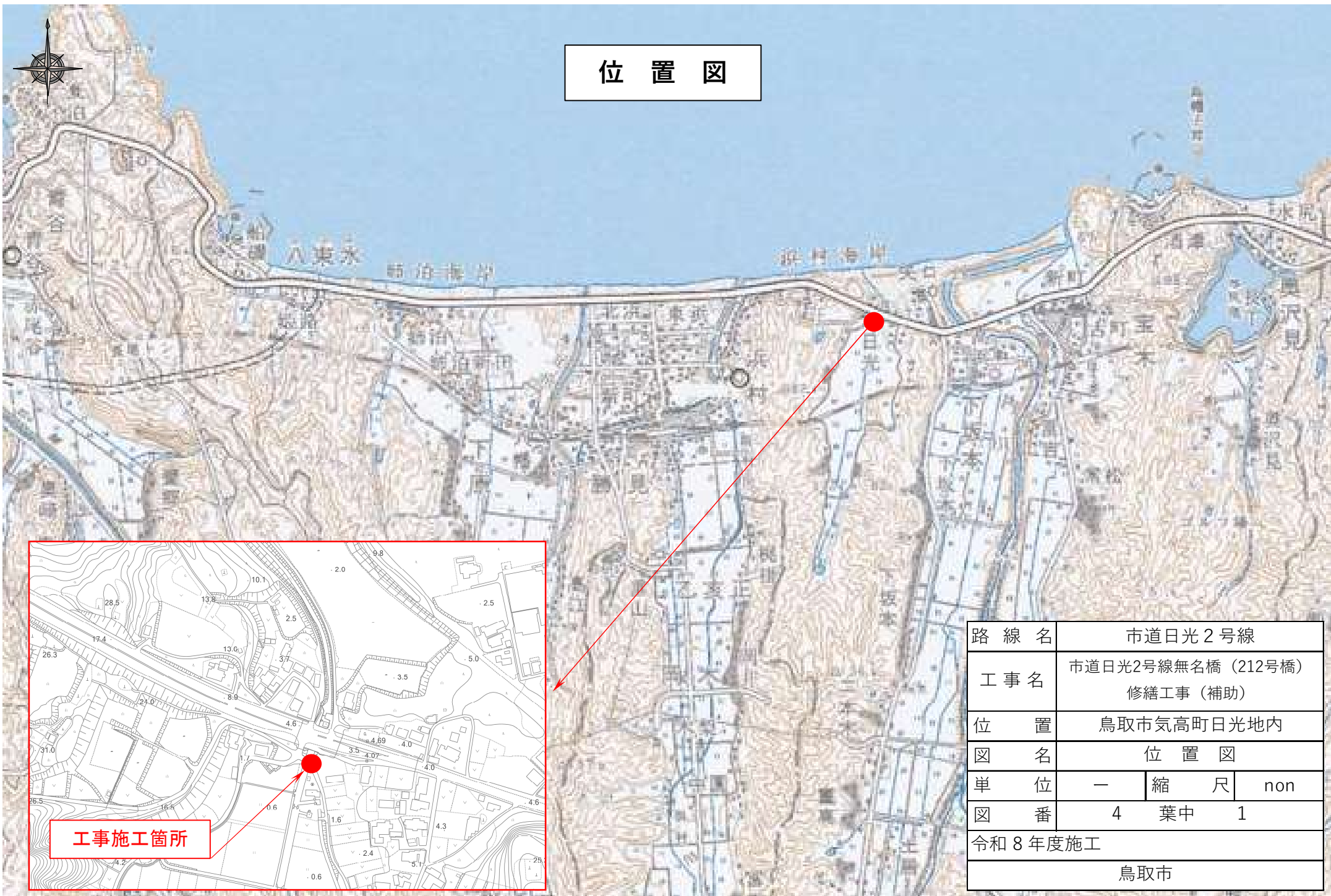
分別解体等の計画等

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。

図号4葉中の内2～4については

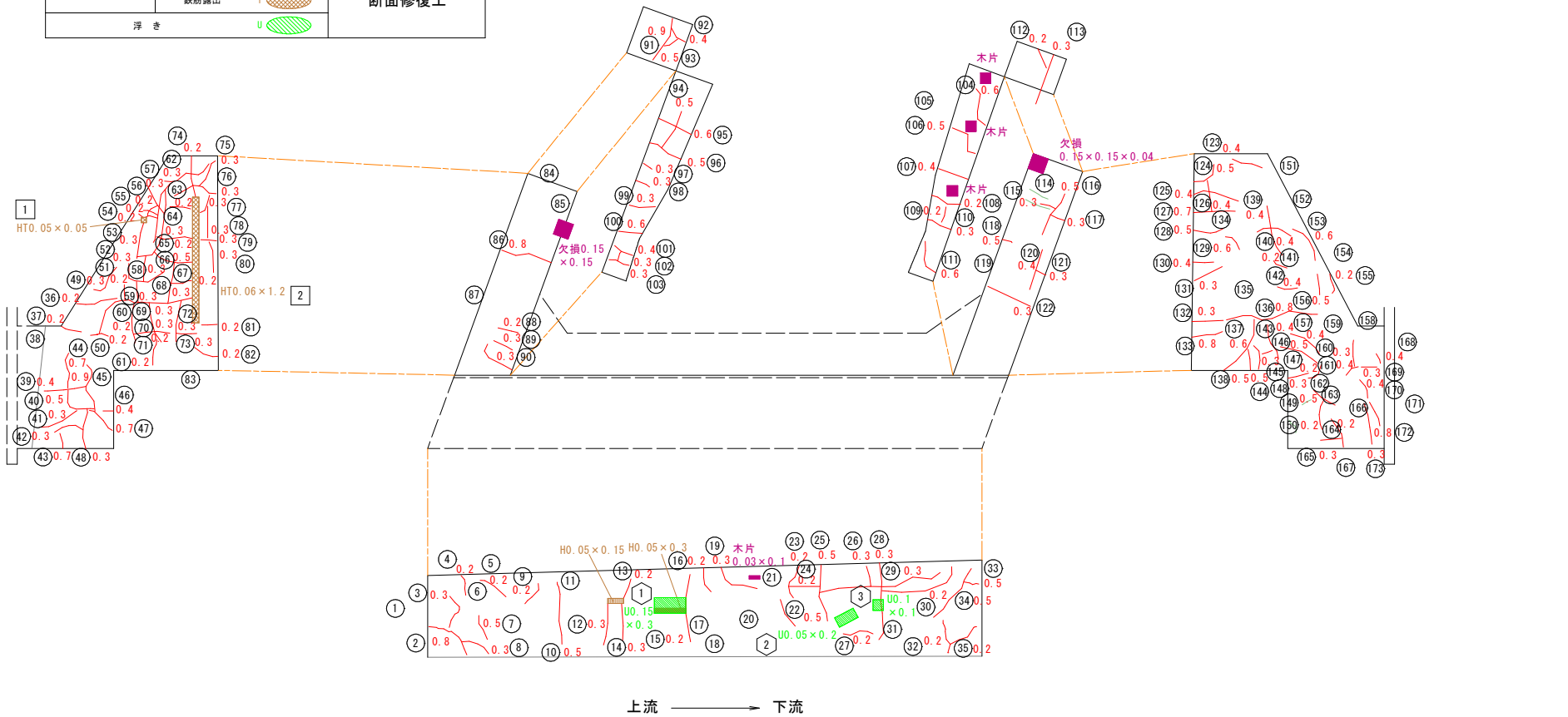
A1図面をA3に縮小している。



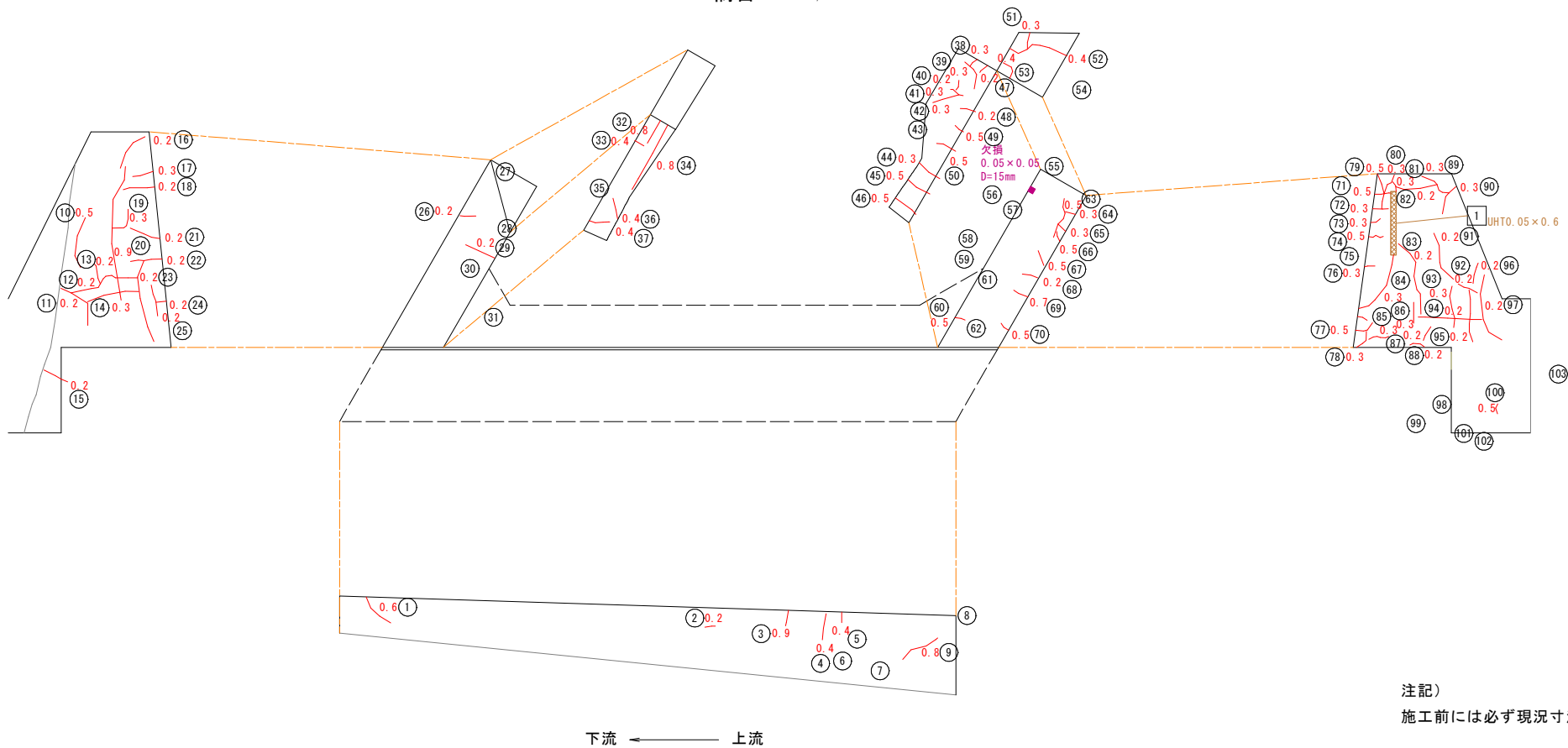
無名橋・212号 補修図（その1）

＜躯体の一体化対策、断面修復工＞

A1橋台 S=1/30



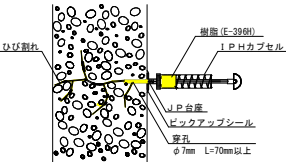
A2橋台 S=1/30



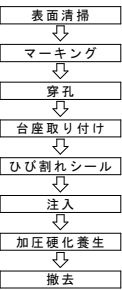
ひび割れ注入工（参考図）

（注入材 エポキシ 1種 5箇所/m）

I P H工法（内圧充填接合補強）同等



施工手順

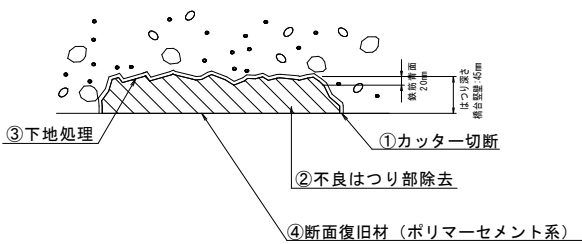


特記事項

1. 穿孔深さについては、現場状況により判断すること。

断面修復工（参考図）

橋台縦壁部



※ 注記 はつり深さは、下記のように推定している。

＜上部工＞
最大損傷深さとし、45mmとする。

断面修復工は、ハンドカッター等によりフェザーエッジにならないように施工すること。

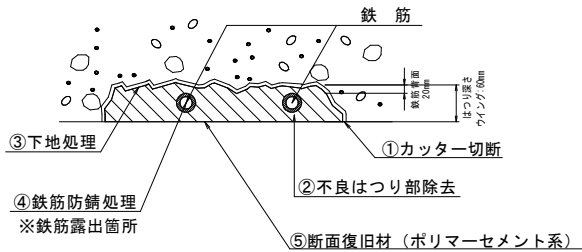
設計上の断り深さは、基準に基づいて算出しているため、現地と差異がある場合、補修方針を考慮し適切な修復深さとする。

※ 注記

- ・本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。
- ・補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。

断面修復工（参考図）

橋台ウイング部



※ 注記 はつり深さは、下記のように推定している。

＜上部工＞
鉄筋かぶり=25mm+鉄筋径16mm+20mm≒60mm
※既設鉄筋かぶり=25mm, 鉄筋径は推定

断面修復工は、ハンドカッター等によりフェザーエッジにならないように施工すること。

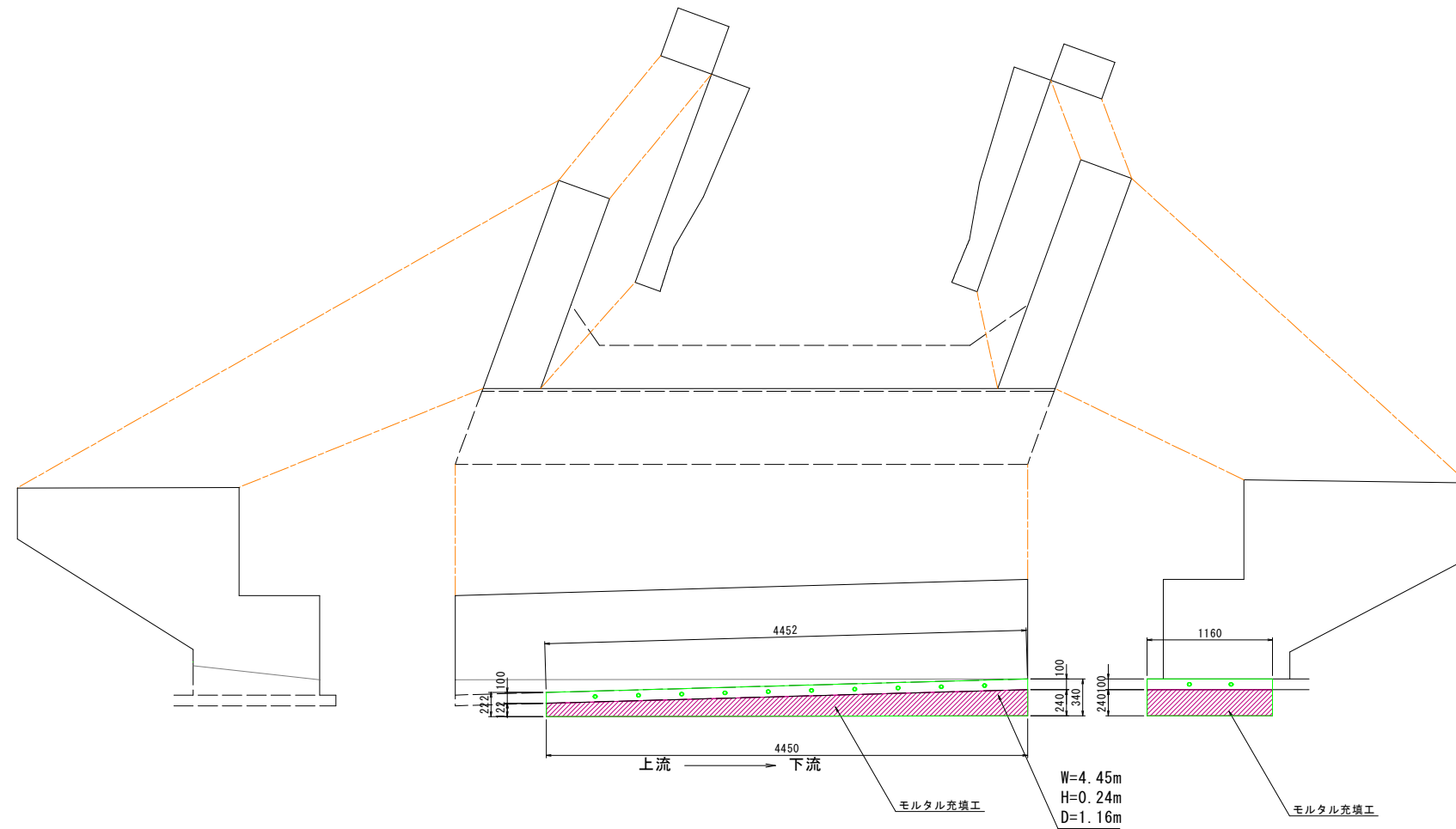
設計上の断り深さは、基準に基づいて算出しているため、現地と差異がある場合、補修方針を考慮し適切な修復深さとする。

注記)

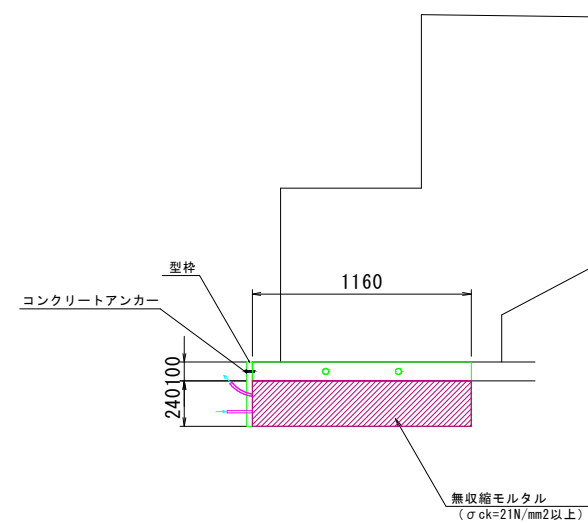
施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工箇所を決定すること。

路線名	市道日光2号線		
市道日光2号線無名橋（212号橋）修繕工事（補助）			
図名	補修図（その1）		
位置	鳥取市気高町日光地内		
縮尺	1/30	単位	mm
図号	全 4 葉 中 の 内 2		
令和 8 年度施工			
鳥取市			

A1橋台 S=1/30



モルタル充填工詳細図 S=1/20



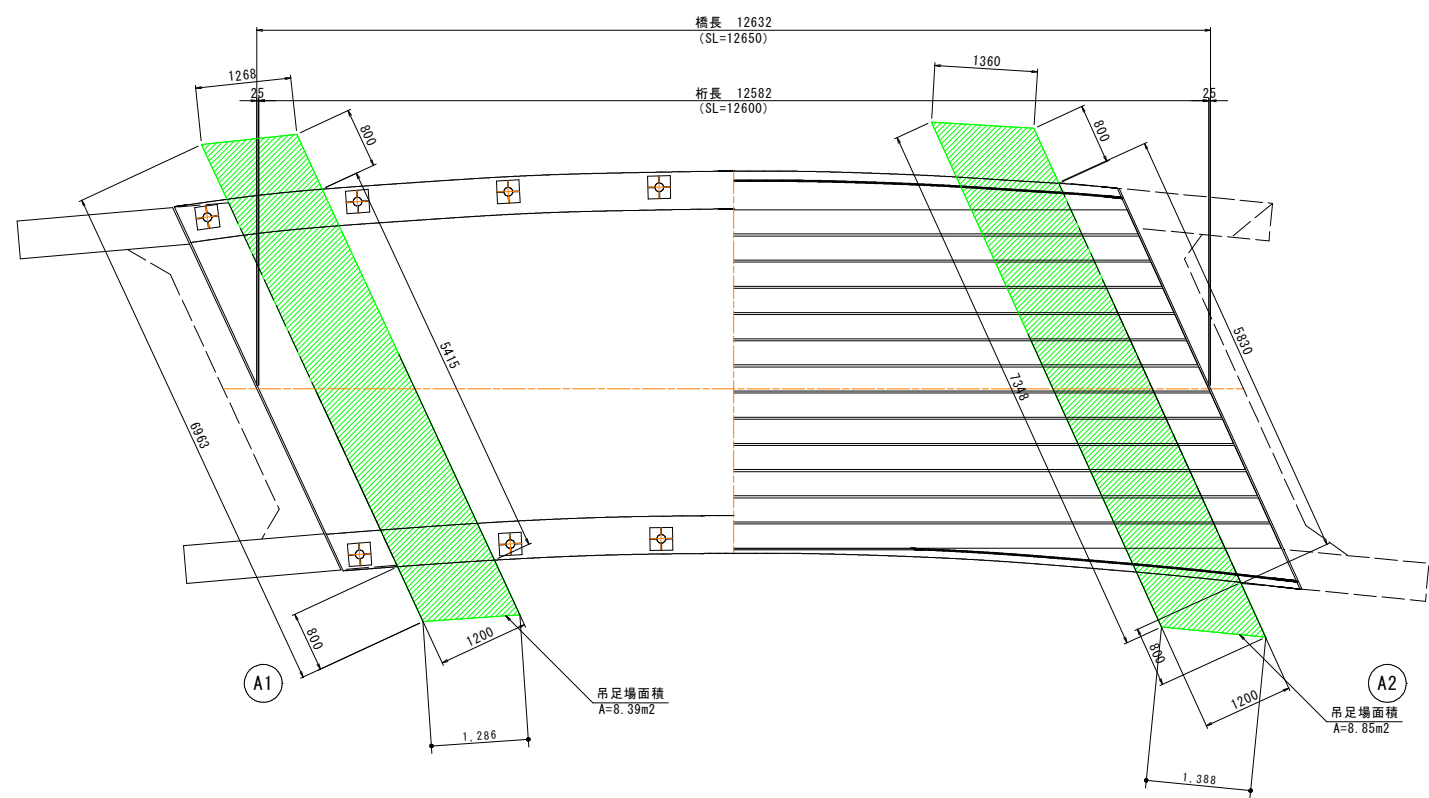
- ※ 施工手順
- 1 型枠製作・設置
 - 2 空気抜き設置
 - 3 モルタル充填
 - 4 型枠撤去

注記)
施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工箇所を決定すること。

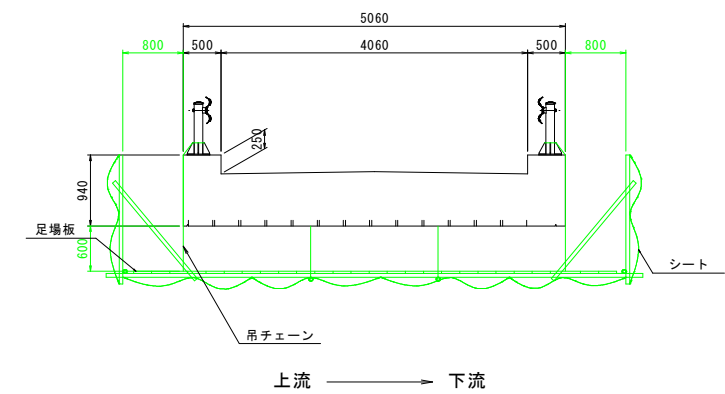
路線名	市道日光2号線		
市道日光2号線無名橋（212号橋）修繕工事（補助）			
図 名	補修図（その2）		
位 置	鳥取市気高町日光地内		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 4 葉 中 の 内 3		
令和 8 年度施工			
鳥取市			

無名橋・212号 仮設図（参考図）

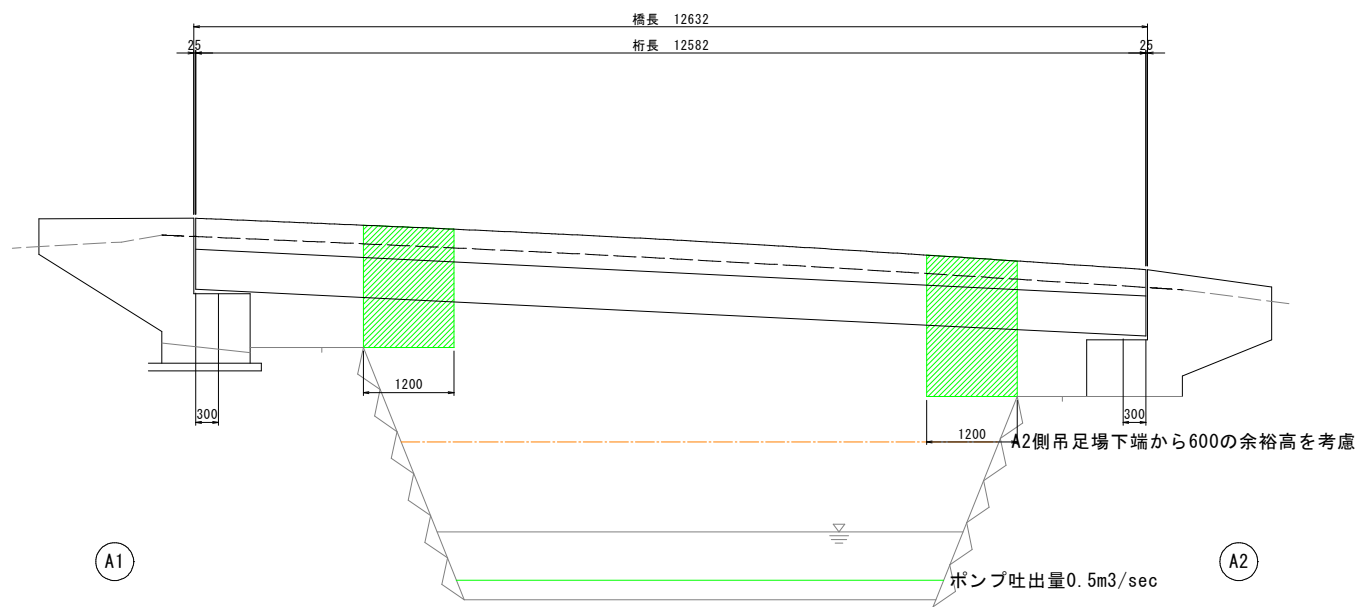
平面図 S=1/50



断面図 S=1/50



側面図 S=1/50



路線名	市道日光2号線		
市道日光2号線無名橋（212号橋）修繕工事（補助）			
図 名	仮設図（参考図）		
位 置	鳥取市気高町日光地内		
縮 尺	1/50	単 位	mm
図 号	全 4 葉中の内 4		
令和 8 年度施工			
鳥取市			